

第1回防府市農福連携検討会議意見（まとめ）

	障害福祉分野	高齢福祉分野	農業分野
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業の受託にあたり、草取りからはじめ、できる作業を増やしていった ・安定して働き続けることができない人が増えている ・作業内容の詳細により、その作業ができる利用者を事業所が調整している ・農家とスケジュール調整をしていくことに課題があり、当日に調整することもある ・以前、農作業を受託していたが、当日の急な依頼やキャンセルに対応できず、続かなかった ・事業所のサービス提供時間等の都合上、長時間の作業時間の確保が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスで家庭菜園程度の野菜作りや花を育てることを機能訓練で行っている ・「働く」ことをメインにしたデイサービスを行っており、畑を借りて作業したり、草取りを受注したりしている ・デイサービスでは入浴等が中心のため、農作業時間は短時間になる ・真夏などの熱中症のリスクや、要介護認定者ができる作業について検討する必要がある ・高齢者の体力や精神状態を含めて納期等に対応できるか不安である 	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携の一環として、J Aのとれたて満菜で障害者就労支援施設が花苗や工芸品を販売している ・山口県の農業従事者の平均年齢は73歳。高齢化により水田農家は年々減っている ・大半の農事組合法人が後継者不足で苦労している ・障害者施設等に委託する場合、どこに連絡したらよいか、どの程度の作業を委託できるか等わからない
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・工賃向上の取組みとして検討したい ・農業という共通のツールを一緒に取り組むことで障害に対する理解が進み、「共生社会の実現」に効果があるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・余っている農地の活用等を踏まえ、高齢者のやりがい、生きがいのためにも検討していきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足の解消と働き手を確保したい ・J Aが窓口となりマッチングをするのが良いのではないか ・農業者のニーズをくみ取り、繋ぐのがJ Aの役割と思われるので、検討していきたい
検討を進める上での注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と福祉それぞれのニーズや価値観の一致（WIN・WINの関係）による連携を検討する必要がある ・生きがいと工賃向上を区別して進めていく必要がある 		